

米国先住民認定 32 周年を迎えて：パスクア・ヤキ保留区調査記

2010 年 9 月 14 日から 20 日まで、グローバル COE プログラム「境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界」の支援を受け、米国アリゾナ州のパスクア・ヤキ (Pascua Yaqui) 保留区において調査を行った。

北米大陸の先住民族であるヤキ (Yaqui) のうち、米国領土内に居住する人々であるパスクア・ヤキが米国政府によって先住民としての認定を受けたのは 1978 年 9 月 18 日であった。それから毎年、パスクア・ヤキの人々は 9 月 18 日を民族認定の日 (Federal Recognition Day) として祝ってきた。米国政府による認定は、ヤキが先住民として米国内に存在することを示す公式見解としてパスクア・ヤキのアイデンティティを支えると同時に、米国から民族への社会的および経済的支援を可能としている。

9 月半ばであるにも関わらず、摂氏 40 度を超える厳しい暑さの中ではあったものの、2010 年の米国先住民認定祭は盛大に行われた。ヤキの米国内の集落は数多く存在し、通常、儀礼は各集落で同時に開催される。しかしながら、この祭に限っては、パスクア・ヤキが米国政府から与えられた先住民保留区である、通称「ニュー・パスクア (New Pascua)」のみが開催地となる。そして他の集落の人々は、民族政府によって借り上げられた観光バスや自家用車に乗って、ニュー・パスクアに駆けつける。普段は閑散としているニュー・パスクアも、この日だけは各段の賑わいを見せる。

朝 10 時に、ニュー・パスクア内の教会で、祭の開催に先立つミサが行われた。教会前の広場には、イベント用の大きく白いテントが立ち並び、子供用の遊具や体験乗馬用ポニー数頭も到着した。例えば栄養バランスの取れた食生活を薦めるパンフレットや、住宅補助の申請用紙の配布といった、民族政府による広報のブースも見られる。加えて、儀礼用品や、メキシコから輸入された雑貨を売る店も見られる。これらのテントの間を、人々は袋を持って足早に歩き回る。目当ては「プレゼント」である。祝いの席で食事や品物が振舞われる様子は万国共通で、この祭でも鉛筆から T シャツに至るまで、様々な品が無料で提供される。くじ引きも複数開催され、自転車、食事券、ステレオセットを手にした当選者が満面の笑みを浮かべる。昼食には民族の伝統食が振舞われ、台所に隣接する儀礼の場では伝統舞踊が披露される。午後には中学、高校生を対象にした「ミス・パスクア・ヤキ」コンテストが開催され、10 代の女性たちが美と民族に関する知識を競う。日が落ちると、民族経営の屋外劇場でコンサートが開かれ、人々はマリアッチやポップ音楽を楽しんだ。

屋外劇場の裏側では、高いクレーン車が稼働していた。民族経営のリゾートホテルが建設中なのである。このホテルに、ゴルフ場を併設する案も浮上しているという。1978 年に先住民認定を受けた際、ニュー・パスクアの前身となる集落には水道も整備されておらず、人々は一日に何度も共用の貯水タンクから家までバケツで水を運んだという。現在では各種ライフラインはもとより、民族政府のオフィスや図書館、博物館、高校、体育館、カジノといった施設まで備えたこの集落の様子を、32 年前に誰が想像したであろうか。

無論この祭の開催に関しては民族内にも賛否両論の意見が存在する。政府からの補助金は民族全員を支えていくには少ない額であるし、殊に現在のような経済状況下においては、カジノ収益も以前程期待できない。新たに建設されるホテルの建設にも巨額が投資されており、オープン後に投資額を回収した上で利益を生み出せる保証はない。そのような状況にありながら、祭で食事や品物を配るのは、いわゆる無駄なばら撒きではないかという批判も聞かれる。さらに、本来、神や先祖に捧げるはずの祈りや踊りを、精神世界とは全く結びついていない政治的な祭において披露することに意義を唱える人々もいる。

とはいえ、食事や音楽が供され、普段は集落に分かれて暮らす人々が集う先住民認定祭は、未だに楽とは言えない生活を送る者も多いパスクア・ヤキの人々にとって、楽しみな1日なのである。

さて、ヤキに関する博物館展示のオープニングが近付いてきている。今回の調査でも、民族政府に経過報告を行うと共に、青い空に巨大なサボテンが映えるアリゾナ南部の雄大な風景を撮影したり、博物館に収蔵されている古い仮面に関する説明を受けたりした。さらに、仮面作家のルイス・デビッド・バレンズエラ (Louis David Valenzuela) 氏からは、オープニングに先立って、彫刻パネルが寄贈された。展示開始を期待されたい。

(水谷裕佳：北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員)



星条旗と共に掲げられるヤキの民族旗